

何人も恐愕せざるを得ません。

現に今期會社は壹割の配當をして資本主を辯ばして居ります。然しながら私達にのみ貸銀の値下諸負債單の値下等を勇敢に行つて居りますが、一方押山某の如きは最高給を取りあまつさい會社から多額の金を出し自動車を購入し運轉手を雇ひテニスコートへ行くのに自動車で出かけ二時間も三時間も運動に夢中になつて居ります。斯の如き醜れる沖電氣の現狀を考慮してより良く改善して以て働き良き工場とすべく更に今回廿ヶ條の要求條件を提出致しましたに對し會社は以前として誠意ある回答なき爲私達はやむなく會社に對し一時取引をやめ會社に反省を求め可く今回の勞働爭議を決定したる次第であります。私達は會社の當事者に對しましてモウ少し私達を人間としての取扱をして下さい。私達の生活の保証を食べるのも保証して下さい。又働かせざるならば氣持よく元氣よく働かせて下さいと嘆願し要求したのである。此の切ない叫びにごに無理が有りますか、私達の要求が無理か會社當事者の無情横暴が當然か諸君の御判断を乞ふ次第であります。

一つの例を申上りますと昭和二年の決算から昭和四年の決算報告を調べますとよく事情は御わかりと思ひます。私達が一生懸命働きまして上げた利益の内から出す配當の割合は實にひどいもので有ります。賞與の如きも昭和二年の十二月から私達には五割から七割削減したのです。又四、五種あげて在ります。従業員項目も實は名のみで其の半分も私達には配けては居らないのです。

昭和貳年上半期利益金處分案

内 譯

- 金貳拾萬圓 別途積立金(ゴマカシ金)
- 金參萬圓 従業員救済資金
- 金貳萬圓 従業員貯蓄及慰安資金
- 金四萬圓 使用人退職給與資金
- 金貳萬圓 職工扶助及退職給與金
- 金拾五萬六千貳百五拾圓 配當(壹割)
- 金參萬壹千貳百五拾圓 配當(貳分五厘)

昭和參年上半期利益金

内 譯

- 金貳拾萬圓 別途積立金(ゴマカシ金)
- 金貳萬圓 従業員救済資金
- 金貳萬圓 従業員貯蓄及慰安資金
- 金四萬圓 使用人退職給與資金
- 金貳萬圓 職工扶助及退職給與金
- 金拾五萬九千參百七拾五圓 配當(壹割)
- 金參萬壹千八百七拾五圓 配當(貳分五厘)

昭和參年下半期利益金

内 譯

- 金貳萬圓 従業員救済資金
- 金四萬圓 使用人退職給與資金
- 金參萬圓 職工扶助及退職給與金
- 金拾七萬五千圓 配當(壹割)
- 金參萬五千圓 配當(貳分五厘)

昭和四年上半期利益金

内 譯

- 金貳萬圓 従業員救済資金
- 金四萬圓 使用人退職給與資金
- 金貳萬圓 職工扶助及退職給與金
- 金壹萬五千圓 従業員貯蓄及慰安資金
- 金拾七萬五千圓 配當(壹割)

毎期金貳拾萬圓近くの繰越金を残して置くので有ります。此の内私達の方と致しましての種々の分はいつも名のみで半分も私達には給與しないのです。請負單價の値下甚だしきもの一例

日本電氣製の猫ベル、コイル取替が請負の場合壹個拾錢で従来やつて居りました。今回全部組立てする手数のかかるものを壹個參錢五厘に値下

二百三十四号送話器、新しく組立する單價が拾參錢五厘調度とるだけで五錢でやつて居りましたが改修の時參錢五厘に値下、等ではとてもやりきれません。實例は澤山あります。御参考までにござん下さい。

七月七日

同情ある各位

沖電氣株式會社爭議團
芝大田 浦崎町 三工場職工一同

4.7.19

林 和 一

何の

大平木

大平木

大平木